

NPO 法人日本歯科放射線学会

第 237 回関東地方会

学術講演プログラム

期 日：2024 年 2 月 3 日(土) 14：00～

会 場：鶴見大学 記念館 2 階 第 1・2 講堂

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

開催方式：現地のみ

12:45～13:45 世話人会 鶴見大学記念館 2 階 セミナー室

14:00～15:00 歯科専門医「共通研修」④院内感染(1 単位)

【注意】共通研修受講希望の方は会員カードをご持参ください。

地方会参加費 2000 円(事前振込)とは別に、**受講料 3000 円**が必要です。

受講申込、受講料支払いは、当日学会事務局の受付で行います。

通研修受講証は後日、事務局から郵送発行されます。

15:05～16:05 一般口演

16:15～17:00 特別講演

17:10～18:10 一般口演

18:30～20:30 情報交換会 鶴見大学より徒歩 5 分

スペインバル&レストラン PEKOPEKO (045-642-5820)

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 18-9-104

開催世話人 五十嵐千浪

鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 教授

<会場案内・アクセス>



- ・鶴見駅西口下車徒歩 5分
- ・京急鶴見駅下車徒歩 7分



- 情報交換会会場
- 鶴見駅西口徒歩 1分

プログラム

開会の挨拶 (14 : 00)

開催世話人 : 五十嵐千浪

歯科専門医「共通研修」④院内感染 (14 : 00～15 : 00)

座長 : 五十嵐千浪 鶴見大学歯学部

『耐性菌対策と抗菌薬の適正使用』

斎藤義夫先生 鶴見大学歯学部附属病院薬局長

休憩 — 5 分間 —

一般演題 Session1 (15 : 05～16 : 05)

座長 : 松田幸子 昭和大学歯学部

1. パノラマ X 線画像におけるコンピュータ診断支援システムの測定位置のズレが解析結果に与える影響について
○三木悠作(日歯大・学新潟病院放射線科)
2. MRI の静磁場が磁性アタッチメント義歯の磁石におよぼす影響
-設置位置及び時間との関係-
○大道紳太郎(神歯大・画像診断学講座)
3. 16bit-CBCT 画像を 12bit 画像処理ソフトにて扱う折に発生する CT とは異なる問題について
○西山秀昌(新潟大・顎顔面放射線学分野)
4. CT 特に歯科用制限視野 CT における高い減弱物由来のアーチファクト対策について
-初期の基礎 (Hough 変換と Radon 変換) を中心に-
○森田康彦(いわき市)

休憩 — 10 分間 —

特別講演 (16:15~17:00)

座長：小林 馨 鶴見大学歯学部

『顎口腔機能と嚥下機能の調和した 次世代 CAD/CAM システムの構築』

小川 匠先生 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 教授

休憩 — 10 分間 —

一般演題 Session2 (17:10~18:10)

座長：小椋一郎 日本歯科大学新潟生命歯学部

5. 下顎骨に生じた象牙質形成性幻影細胞腫の 1 例
○伊東宏和(鶴大・歯放・画像)
6. Study of myalgia of the masticatory muscle in temporomandibular disorders using diffusion-weighted magnetic resonance imaging
○Eri Sawada(Department of Radiology, Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Chiba, Japan)
7. 歯の喪失はアルツハイマー病のタウ病理と関連する
○松元秀樹(東歯大・歯放)
8. マルチモダリティイメージングによる画像診断：様々な病理組織所見を認めた上顎エナメル上皮腫の一例
○織田隆昭（日歯大・新潟病院放射線科）

次回開催世話人挨拶 小椋一郎先生（日歯大新潟・放射線学講座）

閉会の挨拶 準備委員長：若江五月

歯科専門医「共通研修」抄録

『耐性菌対策と抗菌薬の適正使用』

鶴見大学歯学部附属病院 薬局長

齋藤義夫

現在、世界的に薬剤耐性（Antimicrobial Resistance : AMR）対策が進められている。「何も対策を取らない場合（耐性率が現在のペースで増加した場合）、2050年には1,000万人の死亡が推定される（2013年の癌による死亡者数を超える）」とするオニールレポートもあり、我が国においても、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」使用することを徹底する対策が推進されている。

具体的には、臨床現場における意思決定の際の判断材料の一つとして、診療ガイドラインの利用が勧められる。昨年改訂された JAID/JSC 感染症治療ガイド 2023 から歯性感染症および口腔カンジダ症に関する内容を抜粋して解説する。第一選択薬としてペニシリン系抗菌薬の使用が勧められており、一方、耐性化が懸念されるため限られた適応に使うべき薬としてセフェム系、マクロライド系、ニューキノロン系等の抗菌薬が挙げられている。

診療ガイドラインは、医学の進歩や医療環境の変化などにより今後も更新が繰り返される。歯科医療においても、その変化に柔軟に対応することが大切であると考えます。

略歴：1985年3月 日本大学理工学部薬学科卒業

1985年4月 鶴見大学歯学部附属病院 病院薬局入局

2007年4月 鶴見大学歯学部附属病院 医薬品安全管理責任者

2016年10月 鶴見大学歯学部附属病院 薬局長

現在に至る

日本歯科薬物療法学会 認定薬剤師

日本歯科薬物療法学会 副理事長

全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会 会長

令和元年度医学教育等関係業務功労者 受賞

特別講演 抄録

『顎口腔機能と嚥下機能の調和した 次世代 CAD/CAM システムの構築』

鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 教授

小川 匠

近年、歯科医療におけるデジタル技術の発展は目覚ましいものがあります。例えば、CT(Computed Tomography)や MRI (Magnetic Resonance Imaging) 検査等の医用画像、インプラント、補綴や歯科矯正領域における CAD/CAM 技術、さらには、様々な医療情報活用による AI 技術など、たくさんの情報の波に揉まれて溺れそうな勢いです。

特に、歯科補綴領域において口腔内スキャナの臨床導入は、印象採得から石膏模型を起こして、診断や補綴装置の作製を行っていた歯科補綴領域の製作フローが大幅に変化し、デジタルワークフローという新しい技工の流れが定着しつつあります。つまり、ワックスにまみれ、咬合器を活用、埋没材を混和、鑄造して研磨、技工室での手仕事を中心の時代が少しずつ変化し、P C の前で補綴装置の設計を行い、機械が切削加工をするスマートな技工室に移行しようとしているということです。

本講演では、このようなデジタル技術が歯科補綴学の医療にどのように革新をもたらしているのか、その具体的な使用例とともに、鶴見大学附属病院の現状と当講座の取り組みについてご紹介させていただきます。デジタル技術に少しでも興味がある、でもちょっと不慣れで戸惑いを感じている方々も、この講演が新たな視点を見つけるきっかけになれば幸いです。

略歴：1989年3月 鶴見大学歯学部卒業

1994年3月 鶴見大学大学院歯科研究科卒業 博士課程修了

1994年4月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第二講座助教

2004年3月 留学（南カリフォルニア大学 顎顔面疼痛・口腔内科学）

2005年4月 新ハイテクリサーチセンター 顎口腔機能高次元解析室長

2010年11月 鶴見大学歯学部歯科補綴学第二講座 講師

2011年10月 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 教授

2022年4月 鶴見大学歯学部附属病院 病院長 現在に至る

鶴見大学歯学部附属病院病院長

鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 教授

広島大学客員教授

日本補綴学会指導医・専門医

日本顎関節学会指導医・専門医

日本審美学会指導医・専門医

一般演題 抄録

1. パノラマ X 線画像におけるコンピュータ診断支援システムの測定位置のズレが解析結果に与える影響について

○三木悠作¹⁾、佐々木善彦¹⁾、亀田綾子²⁾、諏江美樹子¹⁾、織田隆昭¹⁾、小川瑠璃²⁾、手塚保仁²⁾、野内 駿¹⁾、小椋一朗¹⁾²⁾

¹⁾ 日本歯科大学新潟病院放射線科

²⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科放射線学講座

【目的】パノラマ X 線画像を用いた骨粗鬆症スクリーニングシステムにおいて、測定位置である下顎骨オトガイ孔直下の下縁皮質骨を正確に自動で決定することは難しい。そこで、測定位置のズレが解析結果に影響しているか今回検討を行った。

【材料・方法】パノラマ X 線撮影を施行した患者を対象とした。同一患者において標準測定位置であるオトガイ孔直下の皮質骨厚と意図的にずらした位置の皮質骨厚をそれぞれ測定し、算出された骨粗鬆症のリスク指標の値を比較検討した。

【結果】測定位置をずらすことで骨粗鬆症のリスク指標の値が変化した。

2. MRI の静磁場が磁性アタッチメント義歯の磁石におよぼす影響 -設置位置及び時間との関係-

○大道紳太郎¹⁾、香西雄介²⁾、迫田貴熙¹⁾、佐藤イテヒョン¹⁾、谷口紀江¹⁾、泉 雅浩¹⁾、櫻井 孝¹⁾

¹⁾ 神奈川歯科大学歯学部 画像診断学講座

²⁾ 神奈川歯科大学歯学部 教育企画部

【目的】本研究の目的は、MRI の静磁場が磁石に及ぼす影響について、位置及び時間との関係を明らかにすることである。

【方法】MRI 装置には GE 社製 1.5T SIGNA を使用した。アクリル製ファントムに装着したネオジウム磁石を位置及び時間を変化させて設置し、設置前後の磁束密度の変化量を求めた。【結果】MRI 装置のガントリーから近いほど磁石の磁束密度の変化量は大きくなり、15 cm 以上離れると変化は見られなかった。設置時間は磁束密度の変化に影響を及ぼさなかった。

【結論】1.5T MRI 装置においては、短距離では短時間でも影響を受け、15 cm 離れると長時間の設置でも殆ど影響を受けないことが示唆された。

3. 16bit-CBCT 画像を 12bit 画像処理ソフトにて扱う折に発生する CT とは異なる問題について

○西山秀昌¹⁾、高村真貴¹⁾、池 真樹子¹⁾、新國 農¹⁾、能登義幸²⁾、林 孝文¹⁾

¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

²⁾ 新潟大学医歯学総合病院 医療技術部 放射線部門

【はじめに】CBCT は 12～16bit を有しており、全身用の CT と同等である。しかしながら、CBCT は CT 値を持たず、画素値の割当は装置等によって異なっている。DICOM 画像の処理ソフトの一部には 12bit 処理を基本としているものがあり、16bit 画像を扱う場合 12bit へのマッピングが必要となる。CT においては、-1024 から 3071HU のウィンドウにて切り取られるだけであるが、CT 値を持たない CBCT の場合、切り取る領域によって生成される画素値がオリジナルの画素値と異なる危険性がある。

【方法】12bit の画像処理ソフトに、各種 16bitCBCT 画像を読み込ませ、マッピング結果について調べた。

【結果】マッピング後に画素値が変動するケースがあった。

【結論】CT 値を持たない 16bitCBCT 画像を処理させる場合、12bit 画像処理ソフトは使用しない方が良いと思われた。

4. CT 特に歯科用制限視野 CT における高い減弱物由来のアーチファクト対策について

— 初期の基礎（Hough 変換と Radon 変換）を中心に —

○森田康彦(いわき市)

CT でのメタルアーチファクト低減（MAR）においては 2 次アーチファクトの発生について留意する必要がある。

現在の MAR は投影空間（Radon 変換）と再構成空間（逆 Radon 変換）の双方で被写体のセグメンテーションが行われ、処理をおこなうことを基礎とするものが多い。

このセグメンテーションには、一般的な 2 値画像領域抽出の手法である Hough 変換が用いられるが、これは 2 値画像への Radon 変換とも考えられる。

一方制限視野 CT では、 n 方向の投影のない再構成位置にあるメタル源の抽出は本法では困難である。このように単純に全身用 CT の手法が応用できない大きな違いを認識する必要もある。このような指摘をした内容は検索できなかった。

5. 下顎骨に生じた象牙質形成性幻影細胞腫の1例

○伊東宏和¹⁾、若江五月¹⁾、枝 卓志¹⁾、伊藤由美²⁾、松本直行³⁾、小林 馨¹⁾、五十嵐千浪¹⁾

¹⁾ 鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座

²⁾ 鶴見大学歯学部附属病院病理診断科

³⁾ 鶴見大学歯学部口腔病理学講座

【緒言】象牙質形成性幻影細胞腫 (Dentinogenic ghost cell tumor:以下 DGCT) は石灰化歯原性嚢胞 (Calcifying odontogenic tumor: 以下 COC) の充実型として扱われていたが、2005年のWHO分類の変更により腫瘍として扱われるようになった疾患である。今回、下顎骨に生じた DGCT の1例を経験したので報告する。

【症例】50歳の男性。冷水痛を主訴に近歯科医院を受診し、左下5の抜髄処置を受け、その際に撮影したX線画像にて指摘され、紹介・来院した。パノラマX線像で境界明瞭な透過像を認め、内部には塊状の不透過像を認めた。CTで内部の塊状高濃度像は極めて高いCT値を有し、病変内に含まれる歯の歯根吸収を伴っていた。その後、病理にてDGCTの診断を得たため、区域切除及び腸骨PCBMにて再建を行った。

6. Study of myalgia of the masticatory muscle in temporomandibular disorders using diffusion-weighted magnetic resonance imaging

○Eri Sawada, Kotaro Ito, Hiroataka Muraoka, Naohisa Hirahara, Satoshi Tokunaga, Shunya Okada, Kohei Otsuka, Yuta Kohinata, Ryoga Atsumi, Takashi Kaneda
Department of Radiology, Nihon University School of Dentistry at Matsudo, Chiba, Japan

Purpose : The purpose of the present study was to quantitatively evaluate myalgia of the masticatory muscles in patients with temporomandibular disorders using the apparent diffusion coefficient on diffusion-weighted magnetic resonance imaging.

Conclusions : The ADC values of the masticatory muscles on the pain side were significantly greater than those of the contralateral side without pain.

7. アルツハイマー病の脳内異常タンパク質と歯数の関連 - PET 研究-

○松元秀樹^{1,2)}、互 健二²⁾、遠藤浩信²⁾、松岡 究²⁾、高堂裕平²⁾、小久保奈緒美²⁾、島田 齊²⁾、
後藤哲哉³⁾、後藤多津子^{1,2)}、樋口真人²⁾

¹⁾東京歯科大学 歯科放射線学講座

²⁾量子科学技術研究開発機構

³⁾鹿児島大学大学院 歯科機能形態学分野

【目的】歯の喪失はアルツハイマー病（AD）のリスクであり、動物では脳内アミロイド・タウ病変の蓄積との関連も示唆されている。我々はヒトの歯数とアミロイド・タウ蓄積の関連性を PET を用いて解析した。

【方法】AD 患者 24 名と健常者 19 名の残存歯数とアミロイド・タウ PET 画像の SUVR 値の相関について検討した。

【結果】AD 群において青班核を含む脳幹部へのタウ PET 薬剤集積は歯数と負の相関を示した。また青班核へのタウ集積は海馬局所へのタウ集積とも正の相関を示した。アミロイド PET との相関は認めなかった。AD において歯の喪失が青班核へのタウ蓄積を促進し、そのタウが記憶に関わる海馬へと伝播する可能性が示唆された。

8. マルチモダリティイメージングによる画像診断：様々な病理組織所見を認めた上顎エナメル上皮腫の一例

○織田隆昭¹⁾、佐々木善彦¹⁾、亀田綾子⁴⁾、諏江美樹子¹⁾、小川瑠璃⁴⁾、手塚保仁⁴⁾、
三木悠作¹⁾、野内 駿¹⁾、高田正典²⁾、大野淳也³⁾、岡田康男³⁾、小椋一朗^{1,4)}

¹⁾ 日本歯科大学新潟病院放射線科

²⁾ 日本歯科大学在宅ケア新潟クリニック

³⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部病理学講座

⁴⁾ 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科放射線学講座

【緒言】エナメル上皮腫は、良性歯原性腫瘍の中で最も頻度の高い腫瘍である。今回われわれは、上顎骨に発生し多彩な病理組織像を示すエナメル上皮腫の一例を経験したため報告する。

【症例】57 歳の男性。右側上顎骨の腫脹を主訴に来院した。マルチモダリティイメージングによる画像診断および病理組織学的所見で同一の診断を得たが、病変内部は 5 種の異なる組織により形成されていた。

【結語】マルチモダリティイメージングによる画像診断は、病理組織学的所見を反映する結果となった。

【協賛一覧（50音順）】

＜広告企業＞

朝日レントゲン工業(株)

株式会社フラット

株式会社モリタ

クロステック株式会社

メディア株式会社

＜寄付企業＞

メディア株式会社

IDC エンジニアリング

上記の皆様からご協賛を戴きました。
主催者一同、心より御礼申し上げます。






ソリオ エックスシリーズ

SOLIO Xz II

CBCT+Pan+Ceph

新型センサーの搭載により パノラマ・CT画像が 更にクリアに。

ノイズ低減・高速動作・微細化を可能にした
半導体技術IGZOを採用した新型センサーを搭載。

-  診断に迷いを生じさせない
ピクセルサイズ98 μ mのクリアなパノラマ画像
-  当社前標準比70%増のパノラマ画素数4.5M
-  拡大したFOVで全顎をしっかりと捉えるCT撮影
-  ピクセルサイズ76 μ mとワンショット撮影による
高画質なセファロ画像
-  予備撮影機能とポジショニングシステムで
目的の診断領域を確実に撮影



製品の詳細情報は
こちらのQRコードから

販売名:ソリオ エックスシリーズ 登録番号:228AA9ZX00061000

Imaging new visions. ▼ みるををかえる。▼

製造販売元 **朝日レントゲン工業株式会社** <https://www.asahi-xray.co.jp>

〒601-8203 京都府京都市南区久世築山前376番地の3 TEL:075-921-4330 FAX:075-921-6675

※日本国内の色紙等の印刷につきましてはWEBサイトに掲載しております。本仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



お問い合わせは
弊社HPへ



NEW! 1セット当たり1,600円!

特許出願中

かんたんに
大人から小児まで
全歯部撮影が可能!

【方向指示ガイド】【インジケータアーム2種】



バイトピース20pcs入



5個入



各5本入

- 滅菌・保管も省スペース!
- 大人も小児も共通!
- 数量管理も簡単!
- 衛生的できれいな画像!

Please Check this Video on YOUTUBE!
How to Use "Multi Angle Indicator"



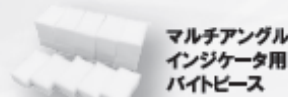
滅菌バッグ封入イメージ
135℃までの温度でオートクレープ可能です
100mmの滅菌ロールに封入可能!

マルチアングル
インジケータ

希望小売価格 5セット 8,000円
(クラスI 28B3X0000900047)

https://www.k-flat.co.jp

マルチアングルインジケータ用品



マルチアングル
インジケータ用
バイトピース

製品名 バイトピース
希望小売価格 200pcs 1,000円
(クラスI 28B3X0000900046) ※単回使用です

撮影後は廃棄するだけ!
IP処理が簡単で衛生的!



製品名 唾液感染予防袋(ワイド)
希望小売価格 500枚 2,000円
(クラスI 28B3X0000900051) ※単回使用です

NEW! 完全密閉できて、衛生的!



5枚まとめてシールできるので作業効率アップ!
シーラー台もお問い合わせください!

スマートグリップ対応の熱シールタイプもございます!



製品名 熱シール式IPカバー
希望小売価格 500枚 6,000円
(クラスI 28B3X0000900046) ※単回使用です

手持ち型 口内法撮影補助具

特許取得済

指を口に入れないので、
撮影前後の手洗いは不要!

姿勢もらくらく!



動画で
紹介中!



IP用 サイズ2用

サイズ0・1用

CCD用



製品名 スマートグリップIP
(クラスI 28B3X0000800036)
希望小売価格 各1本 7,000円

製品名 スマートグリップCCD
(クラスI 28B3X0000900037)
希望小売価格 1本 13,000円

咬合型 口内法撮影補助具

スマートウイング 1本で、全歯部対応可能!

IP保持部が動いて、やさしくフィット!



製品名 スマートウイング
(クラスI 28B3X0000800030)
希望小売価格 10本 3,900円

スマートウイング(スマート撮影)
撮影動画をネットで公開中!



URL: https://youtube.com/Mag8dzoHP11

感染症リスク軽減アイテム

製品名 唾液感染予防袋

撮影後は廃棄するだけ!
IPの処理が簡単で衛生的になります!

1枚ずつ取り出しやすい
ケース採用!



スマートグリップ用
(クラスI 28B3X0000900006)
500枚入 2,500円

スマートウイング用
(クラスI 28B3X0000900003)
500枚入 1,500円

パノラマ撮影用マウスピース

特許出願中

スマートピース SMART PEACE

患者様にかんでもらうだけで、瞬時に歯列の位置合わせと最適なクリアランスが設定できます。ディスプレイで衛生的です。

センタリングガイドが
持手になるので、唾液が
つかず、衛生的!



歯列に合わせた
カーブで違和感なく
かんたん設定!



製品名 スマートピース
※単回使用です (クラスI 28B3X00009000044)
希望小売価格 120個入 4,800円

非常にやわらかい素材です!

口内法撮影用 IP 保護カバー

特許取得済

製品名 フラットバッグ テープを使わないので
簡単にIP長持ち!



スマートグリップIPには
こちらを組み合わせてください

00A	22mm × 31mm	00B	22mm × 35mm
10	24mm × 40mm	20	31mm × 41mm

各サイズ対応!

(クラスI 28B3X00009000026) 希望小売価格 500個入 6,000円

被ばく軽減口内法撮影アイテム



スマートウイングと組み合わせて、
水晶体などの被ばく軽減に!

製品名 スマートウイング用矩形絞り
(クラスI 28B3X00009000031)
希望小売価格 1枚 2,400円

IP後方の被ばく軽減に!

製品名 口内X線遮蔽プレート
(クラスI 28B3X00009000032)
希望小売価格 5枚入 1,800円

製造・販売元 **株式会社フラット**
〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町141-4
TEL:078-412-2345 FAX:078-412-2028
URL: http://www.k-flat.co.jp/

取扱い品目
歯科用レントゲン自動現像機(明室用、暗室用)・現像処理液
口内法エックス線撮影補助具・防護用品(防護衣・手袋他)

※表示の価格は、いずれも税別となります

弊社ホームページで
商品を紹介しております
ぜひご覧ください!



Thinking ahead. Focused on life.



Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80 μ mのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。

さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。



販売: 株式会社 電研伊 大阪本社: 大阪府吹田市東吹田2-13-19 TEL: 06-6394-2525 東京本社: 東京都中央区日本橋6-1-10 TEL: 03-3534-8191
お客様センター: 東京都豊洲4丁目1-1 TEL: 03-6542-9028 (フリーコール) 販売拠点: 新潟、長野、岐阜、愛知県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
販売名: ベラビュー X800 標準価格: 3,640,000円 (消費税別) 2018年1月25日現在 一般の名前: デジタル式放射線計測器 登録商標: X線診断装置
製品の分類: 医療用放射線計測器(クラスII) 特定保健用機器 医療機器承認番号: 234AC37300000000
詳細な製品情報につきましては、こちらをご覧ください。 http://www.dental-ekasa.com/article/veraview_x800

CROSS TECH デジタル口内法専用CR機



アルカナ

arcana *Mira*

すべての歯科診療施設に
高品質な画像診断ソリューションを
Made in JAPANの品質をお届けいたします。



医療機器認証番号 226AGBZX00085000

Simple / Smart / Focused

超音波診断装置 TE7

医療機器認証番号 231A0BZ00002Z00

デモ機準備しております。
弊社へお気軽にお問い合わせください。



多彩なプローブを用意



リニアプローブ



20MHzリニアプローブ



50mm幅リニアプローブ



ホッカースティック

CROSS TECH



クロステック株式会社

〒130-0022 東京都墨田区江東橋1-3-6
tel: 03-3632-3541もしくは0120-991-357
URL: <https://www.crosst.co.jp>

この資料の記載内容は2022年10月現在のものです。製品の仕様などは予告なく変更する事があります。

医科・歯科医療従事者のための地域医療連携支援サイト



骨と歯の健康連携ポータル

骨と歯の健康連携ポータルは、「骨粗鬆症及び顎骨壊死等の関連疾患」に関する地域医療連携を支援するためのプラットフォームサービスです。

より安心安全な治療を推進して健康寿命の延伸に貢献し、骨折予防を中心とした新しい医科・歯科連携活動が、地域の中で密に推進されるよう支援します。

医療機関・連携協議会の情報を…

- 発信** 会員登録することで、必要とする医療機関へ向けて情報を掲載できます。
- 収集** ・詳細な条件で検索可能
・セミナーやイベントなど有益なコンテンツを配信

積極的な地域医療連携へお役立てください。

会員登録は無料!

登録なしでも閲覧可能です。アクセスはこちら!



<https://honetoha.jp>

骨と歯の健康連携ポータル



お問い合わせ **メディア株式会社** 骨と歯の健康連携ポータル運営事務局 E-mail : support@honetoha.jp

(一社)日本歯科医学会連合の「令和5(2023)年度研究課題募集」に採択

歯槽骨の骨密度を計測して、安全・安心な歯科診療を支援します。

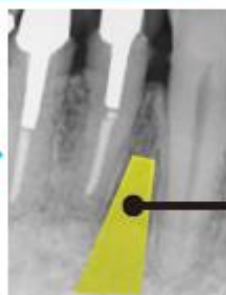
DentalSCOPE

デンタルスコープ

DentalSCOPE 実例



骨密度が既知の参照体の骨密度計測。



画像上にROI(関心領域)を設定、参照体の骨密度を基準として、ROIの骨密度を計測。

平均値 (mg/cm ²)	901.51
分散 (mg/cm ²) ²	17791.79
標準偏差 (mg/cm ²)	133.39
標準誤差 (mg/cm ²)	0.98
変動係数	0.15

専用の器具(DentalSCOPEインジケーター)を使用して、口内法(デンタル)X線画像を撮影し、**「DentalSCOPE」**で画像解析。解析結果は、Excelを使用して分析等に活用できます。

詳しい情報は
こちらをご覧ください▶



<https://md-scope.com/products/dental/>

【医療機器製造販売認証番号】第302AFBZX00033000号



メディア株式会社 TEL.03-5684-2510(代)
〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-6 NREG本郷三丁目ビル8F